

図書館だより 1号

令和8年7月 発行

新年度がスタートしてから3か月が経ちました。みなさん、どのような学校生活を送っていますか？今回の図書館だより1号では、図書委員長岡田さん・新任で来られた、松澤教頭先生・事務主任主事の高山さんにお薦めの本を紹介していただきます。みなさんが、本と触れ合ういいきっかけになればいいなと思っています。是非、ご覧ください。

松澤裕紀教頭先生お薦めの本



【書名】深夜特急1 香港・マカオ

【著者名】沢木 耕太郎

【本に関するコメント】26歳の＜私＞がインド・デリーからロンドンへと向かう放浪の旅。その第一歩となるのが、この香港・マカオ編です。発刊当時はスマートフォンはおろか、携帯電話もない時代でした。この本に描かれる旅は、今の感覚からすると不便極まりないものです。しかしだからこそ、怪しげな安宿の空気感や、見知らぬ老人との一期一会の会話など、綿密な計画な旅には起こりえない「行き当たりばったりのリアル」が強烈な新鮮さをもって迫ってきます。読むだけで旅の熱量を感じ、自分もどこかへ飛び出したくなる。そんな「非日常の感覚」を味わえる読書の醍醐味が、この一冊に詰まっています。

みなさんへのメッセージ

皆さん、旅をするのは好きですか。最近、どこかへ出かけましたか？私はこの年齢になっても、行ってみたい場所が増えていく一方です。旅の一番の魅力は、「自分の足で立ち、自分の目で世界を見られる」ことです。新しい発見に驚くこと。人の温かさに触れること。大自然の大きさに圧倒されること。そして、帰ってきたときに日常のありがたさに気づくこと。旅はいつも、次の一步を踏み出す元気をくれます。これからの長い人生、ぜひたくさん旅をしてください。そして実は、読書も旅とよく似ています。ページを開くだけで、いつでも見知らぬ世界へ潜り出すことができるからです。まずは本を開いて、「非日常のワクワク感」を味わってみませんか。

【令和8年度 図書委員長】岡田 唯夏さんお薦めの本



【書名】Fate/Zero

【著者名】虚 淵玄

【本に関するコメント】かつて闘争があった。舞台は東洋のとある国。その中でも単なる地方都市に過ぎない場所で、人知れず行われた闘争。『聖杯』それは奇跡。それは伝説。それは希望。でも、それを求めることは絶望の証。ただ一つの望みのため、先祖代々、全ての人生をかけて、叶えようとする七人のマスターの”聖杯戦争”。Fate シリーズの原典をぜひ読んでください。

みなさんへのメッセージ

物語の中のキャラクターや、参考書には様々な生き方が書いてあります。どのように行動し、どのように負け、成功したのか、それも著者によって同じ行動でも書き方は変わっています。そして、読んでいるあなたが今、どんなシチュエーションで読んでいて、どんな種類の本を読んでいるのかという所も一人一人違います。そんな何一つとして同じものはない物語を図書館で見つけてみませんか？

“事務”高山由美さんお薦めの本



【書名】博士の愛した数式

【著者名】小川 洋子

【本に関するコメント】交通事故の後遺症で80分しか記憶が続かない数学者と、彼の派遣された家政婦とその息子が次第に心を通わせていきます。三人のぎこちない日々が歓びと驚きに満ちていきます。数学の魅力やロマンを感じることができ、数学が好きでなくても面白いと思います。高校生活の忙しい日々の中で、ふっと心が落ち着く物語です。寺尾聰さんが主演で映画化もされました。

みなさんへのメッセージ

勉強や部活動で忙しいと思いますが、いつも自分らしく輝いていてください。